


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 2月10日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第5号	質問議員	2番	山崎 政司 
件名	1. 一層の安全・安心を目指した強化推進を 2. 耕作放棄地の有効活用を			
要 旨				
<p>1. 一層の安全・安心を目指した強化推進を 山北町の総面積は、県内では横浜市、相模原市につき3番目に広い224.6km²を有し神奈川県内の総面積の9.3%を占めています。しかし、その内の88%強は林野となっています。人口も減少の一途を辿り現在では、1万人を割り込むと同時に著しい勢いで高齢化が進展しています。</p> <p>そのため、町民の犯罪に対する恐怖心は年ごとに増し、安全・安心を確保してほしいとの切実な声が寄せられています。</p> <p>また、山林には不法投棄された大・小のゴミが散見されているなど、人目につかない場所における事故、事件なども懸念されます。</p> <p>そこで、安全・安心な山北町として認知して頂くためにも、防犯カメラの設置を積極的に進め、ひったくりや窃盗犯罪、不法投棄その他、犯罪の抑止と共に近年においては、犯人の特定に大きな役割を果たし検挙に繋げている事実から住民の安全と安心を図るべきと考えます。</p> <p>今年、オリンピック・パラリンピックを控え国内外から多くの方が山北町にも来町される事が想定されます。</p> <p>山北町は、防犯対策がしっかりしている町であることを認知して頂くためにも防犯カメラの設置推進を早急に進めるべきと考え、以下質問します。</p> <p>(1) 現在地区別に設置されている防犯カメラの台数は。</p> <p>(2) 林野への不法投棄を町はどのように把握しているのか。また、不法投棄に対しどのような対策を講じているのか。</p>				

2. 耕作放棄地の有効活用を

現在全国的にも、遊休農地や休耕田、いわゆる耕作放棄地が農業従事者の高齢化や担い手不足などの要因により増加しています。当町においても近年、特に耕作放棄地が拡大しているのが目につきます。そこで、担い手育成制度や担い手の農地利用集積、遊休農地の解消など農地の有効活用を進めるべきと考えます。

伊豆の松崎町では、耕作放棄地の解消と未然防止に向けた取り組みで、耕作放棄地及び将来農業経営に不安がある農家と経営規模を拡大したい担い手や、新たに農業を始めたい就業希望者を結び付ける耕作放棄台帳を作成しホームページで公開しています。もちろん農家への意向調査や農地の貸借、売買の意向も把握されています。

行政だけでなく、農家や農業委員会、農業関係者とも連携し土地の条件に合う売れる野菜や、町内で地産地消が可能な農産物の生産を拡大し、道の駅やスーパー、学校給食の食材提供を踏まえ検討すべきと考え質問します。

- (1) 現在町が把握している遊休農地、休耕田はどのくらいあるか。
- (2) 耕作放棄地の解消や再生利用に向けた対策について、具体的取り組みをどう考えているのか。